

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



【清水小学校】

<第5学年：やさしい町 清水
(地域の高齢者や障がいのある人々とふれあう)>



○ いきがい交流センターの職員の方の仕事内容の紹介

本校に隣接する生きがい交流センターの職員の方との交流を通して、生きがい交流センターの役割や福祉について詳しく学んだ。盲導犬と一緒に歩行している姿を披露していただき、自分たちができることを考えることができた。

○ 福祉体験の実施

・車椅子体験（肢体不自由者または高齢者）

講師の先生に教えていただきながら、実際に車椅子に乗ったり、介助をしたりした。段差の衝撃や細い道での介助のポイントや、声掛けのタイミングを体感した。



・アイマスク体験（視覚障がい者）

アイマスク体験では目の不自由な方が安心して歩行するためにはどうすればよいのか、考えながらガイドヘルプができた。

・高齢者疑似体験

講師の方にサポートをいただき、手袋をつけて折り紙を折ったり、箸でおはじきをつかんだりした。シニア体験ができる道具を使って、手首や足首におもりを付けて高齢者になりきって歩行練習を行った。

○ 肢体不自由者の方との交流（生活の紹介・俳句作りなど）

授業の締めくくりとして、自分の思いを結集した一つの俳句作品として残すことができた。



○ 交流を通して、福祉についての調べ学習とその発表

なかよし集会では、車椅子体験やガイドヘルプの実演をして、全校児童に今までの取り組みを紹介した。

地域で生活する障がいのある人々や高齢者の生き様に触れたり、それらを支える仕事に触れたりすることによって、今後の自らの生活に生かすために福祉について深く考えることができた。